

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	946.20	2022/5/16
High	972.52	2022/5/20
Low	926.30	2022/5/19
Close	958.00	2022/5/20

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3935.00	2022/5/16
High	4024.00	2022/5/18
Low	3812.00	2022/5/19
Close	3937.00	2022/5/20

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1944.00	2022/5/16
High	2118.00	2022/5/18
Low	1914.00	2022/5/16
Close	1967.00	2022/5/20

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8087.00	2022/5/16
High	8807.00	2022/5/18
Low	7950.00	2022/5/20
Close	8088.00	2022/5/20

ニュースエクスプレス

プラチナ需要の増加に伴い、今年の市場の余剰は減少へ

ジョンソン・マッセイ社のレポートによると、プラチナ市場の余剰は、今年は減少し、パラジウムとロジウム市場も供給不足に転じるだろうとしている。

プラチナ、パラジウム、ロジウムは自動車触媒に使われ、エンジンの排気ガスを軽減する役割を担うが、プラチナはその他の産業や宝飾品、投資にも利用されている。パラジウムとロジウムは供給が限られているため近年は価格が高騰しているが、十分な供給があるプラチナの価格はそうではない。

ジョンソン・マッセイ社は、主要原産国であるロシアからどれだけのメタルが輸出されるか予測できないため、例年のレポートと違い、余剰あるいは不足となる正確な量は発表していない。

2月にウクライナに軍隊を送り込んだロシアに対する制裁は（プラチナ）輸出を対象としていないが、ジョンソン・マッセイ社リサーチのRupen Raithatha は、各国政府あるいは企業がさらに制裁を加える可能性もあるとしている。

レポートでは、半導体不足による自動車の減産で2022年のプラチナ需要は伸びないが、供給も南アフリカの生産が減るなどで下降線を辿るとしている。

ジョンソン・マッセイのレポートでは、大型トラックの触媒装置、パラジウムの価格が上がっているためガソリン車の触媒で代わりにプラチナで代替する動きなどがプラチナ需要の成長を支えているとしている。

レポートによるとパラジウムとロジウム価格が高騰しているため、中国の自動車メーカーはかなりの量の節約をしているとしている。パラジウムの最大産出国であるロシアの供給リスクが短期間で代替を加速することはないが、長期的にはありうるとRaithathaは述べている。

「自動車メーカーは触媒の金属使用量を今年、あるいは来年と、即急に変更することはできないが、ウクライナ危機が続けば、予定を少し前倒して代替の動きを早めることはできるだろう。」としている。

<https://www.iol.co.za/business-report/markets/commodities/surplus-in-the-platinum-market-should-shrink-this-year-as-demand-for-it-grows-ec78b163-6059-4f92-a901-ad0e1f93f660>

韓国のLSグループ、日韓合弁のニッコーカッパーの全株式取得

韓国のLSグループは23年間続いた日本との合弁事業に終止符を打ち、日韓共同製錬が保有するLSニッコーカッパーの持分49.9%を取得して、持分を100%とした。LSニッコーカッパーは電子材や航空機まで、非鉄金属素材など銅精錬事業を手がけている。

LSグループの役員会は5月19日、JX金属などによるコンソーシアムである日韓共同製錬の保有する株式を9300億ウォン（7億3314万ドル）で取得することを承認した。日本有数のエネルギー事業会社ENEOSホールディングスの中核事業会社であるJX金属は日韓共同製錬の80%を保有し、残りは丸紅と三井金属が保有している。

LSニッコーカッパーは今後LG Metals & Materials と名前を変える可能性もあり、半導体素材、リチウム電池素材の生産も視野に成長を図る。

同社は近く、世界でも最も希少で高価な貴金属であるロジウムの生産を始める。銀白色のロジウムは、2011年に同社が、遷移金属でレアメタルの一種である暗灰色のレニウムを生産して以来の初めての新しい製品になる。ロジウムは白金族金属の一つで、主な用途は自動車の排ガスを浄化する触媒装置。LSニッコーカッパーは営業利益3544億ウォン、売上9.9兆ウォン。

<https://puisenews.co.kr/view.php?sc=30800028&year=2022&no=446453>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は先週、2022年第1四半期のPlatinum Quarterlyを発表し、2022年の通年予想を修正しました。2022年第1四半期の出来事がプラチナの需要よりも供給に大きく影響したため、前回の2022年余剰予想を19トンに下方修正。詳しくは**2022年第1四半期のPlatinum Quarterly**をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/329871/WPIC_PR_PQ_Q1_2022_20220516_JA.pdf



(@wpicjapan)